

## 施設及び指定管理者の状況

## 1 施設

(1) 名称	和歌山県和歌山マリーナ（ディンギーマリーナ）	
(2) 所在地	和歌山市毛見1514番地	
(3) 電話番号	073-448-0251	
(4) ホームページ	<a href="http://www.wakayama-sailing.org">http://www.wakayama-sailing.org</a>	
(5) 施設の目的	海洋性スポーツの振興及びレクリエーション活動の普及を図る	
(6) 根拠条例	和歌山県マリーナ条例	
(7) 所管課室	県土整備部 港湾空港局 港湾空港振興課	
(8) 施設が提供するサービス(施設・設備)	ディンギークラブハウス（鉄骨造、一部2階建、延床面積317.66㎡）、新ディンギーハウス（鉄骨造、2階建て、延床面積1434.11㎡）、ディンギーヨット艇庫（鉄骨造、2階建、延床面積328.00㎡）、ディンギーヨット艇庫（鉄骨造、2階建、延床面積642.97㎡）、ディンギーヨットヤード、ビジター一時係留バース（延長220m、ビジター棧橋240M連絡橋つき、給電・給水施設付き）、気象観測施設（風向、風速、気圧計）、駐車場	
(9) 利用料金制	導入済	
(10) 施設の料金		
	項目	金額
	艇庫	2,860～14,300 円
	ヤード	500～11,000 円
	係留施設	3,300～13,200 円
	洗艇場、シャワー、ロッカー	100 円
	駐車場	500 円
	会議室	2,700～6,600 円

## 2 指定管理者

(1) 名称	特定非営利活動法人和歌山セーリングクラブ					
(2) 所在地	和歌山市毛見1514番地					
(3) 代表者	山口 慶一			(4) 電話番号	073-448-0251	
(5) 指定管理期間	始期	R3. 4. 1	終期	R6. 3. 31	期間	3年
(6) 選定方法	公募 (公募選定の際の応募者数) 1 者					
(7) 職員配置	常勤	1 名	非常勤	3 名	合計	4 名
	有資格者 4 名 (資格名 小型船舶免許、公認コーチ )					
(8) 指定管理料	令和	5 年度	6,990,000 円			
	令和	4 年度	6,990,000 円			
	令和	3 年度	6,990,000 円			

## 業務及び利用の状況

## 1 利用状況(代表的なものを3つ)

(1) 施設の利用状況を示す指標	(2) 左の数値 ※( )は前回モニタリング時の数値
ア 保管艇数(隻)	138 ( 114 )
イ イベント開催日数(日)	138 ( 146 )
ウ	( )

## 2 仕様業務の実施状況

(1) 業務名称	(2) 左の実施状況
ディングーヨット保管施設	138隻
ビジター一時係留バース	10 隻
会議室	35 回
シャワー	5 回
ロッカー	5 回

## 3 自主事業の実施状況

(1) 業務名称	(2) 左の実施状況
大会・レース運営	16 回 (54日)
合宿開催	20 回 (98日)
体験会・練習会・講習	13 回 (68日)

## 収支の状況

## 1 収入

(1) 費目	(2) 金額
運営管理委託料	¥6,990,000
利用料金収入	¥8,042,230
その他	¥451,000
自主事業収入	¥4,831,000
計	¥20,314,230

## 2 支出

(1) 費目	(2) 金額
人件費	¥6,685,000
旅費	¥237,000
需用費（消耗品）	¥700,000
需用費（光熱水費）	¥2,483,000
通信費	¥138,000
広告宣伝費	¥178,000
保険料	¥727,000
清掃管理業務費	¥1,471,000
使用料	¥438,000
租税公課	¥1,400,000
修繕費	¥349,000
保守点検費	¥1,159,000
その他	¥354,000
計	¥16,319,000

## 3 収支（収入-支出）

¥3,995,230

## 利用者アンケートの状況

## 1 アンケートの実施期間、方法及び有効回収数

(1) 実施期間	自	令和	5年	4月	1日
	至	令和	6年	3月	31日
(2) 実施方法	聞き取り方式			(3) 有効回収数	15名

## 2 アンケート結果

評価する主な意見	左を受けての対応等
<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの利用にとどまらず、学生から一般まで合同で練習できるのが良い。</li> <li>セーリングのための安全を含む情報提供を行ってくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ等の練習に連動して利用者が参加できる環境づくりを進めた。練習計画はLINEグループにより情報発信している。</li> <li>引き続き安全確保に努めている。利用者に対して適切な情報提供ができるようスタッフを配置し、艇の整備のサポートも行っている。</li> </ul>
評価しない主な意見	左を受けての対応等
<ul style="list-style-type: none"> <li>入口ゲートの施錠により、入退場が不便である。</li> <li>スロープが滑りやすい。</li> <li>スロープにゴミが漂着しているので掃除して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利便性向上のため新500円にも対応するよう改修した。</li> <li>高圧洗浄機による定期的な洗浄回数を多くした。しかし、高圧洗浄によりスロープ表面のコンクリートの劣化が目立つ場所がでてきている。</li> <li>大雨、北風の後、ゴミは目立つので、スタッフが清掃をこまめにするようにしている。</li> </ul>

## 重要業績評価指標（KPI）の達成状況

## 1 重要業績評価指標（KPI）

指標	目標値	実績	達成状況
利用料金収入(円)	10,186,000	8,042,230	× (未達成)

## 2 目標達成に向けた取組

- ・ 定期契約の艇数増加のため、競技会などを通じて個人・団体に呼びかけを行った。
- ・ 強化合宿の実施日数の増加を日本セーリング連盟に要望した。

## 3 目標未達成の場合の改善策等

- ・ 定期イベント及び単発イベントについて、引き続き誘致を行っている。
- ・ 全国高校総体（インターハイ）ヨット競技の固定開催の10年延長が決定したので、事前合宿の誘致を推進している。
- ・ 和歌山市のヨット体験会を令和4年度から始めた。
- ・ ワールドマスターズゲームズ関西2027に向けて、プレイベントを行っている。